

《担当者名》○教授／長澤 敏行 nagasawa@ 特任教授／古市 保志 furuichi@ 教授／斎藤 隆史 t-saito@
 教授／越野 寿 koshino@ 教授／永易 裕樹 nagayasu@ 教授／齊藤 正人 msaitoh@
 教授／伊藤 修一 shu@ 准教授／川西 克弥 kawanisi@ 講師／村田 幸枝 y-murata@
 助教／松木 優子 matsuki@

【概要】

臨床実習Ⅱの地域連携Ⅱでは、地域医療を担う歯科クリニック・病院歯科・歯科訪問診療で包括的な歯科治療を実践するための基本的な知識・技能・態度を修得する。

【学修目標】

- ☆ 臨床実習Ⅰで学修した各分野の基本的診療についての知識、技術、態度を統合し、包括的な歯科医療を実践するための知識、技術、態度を修得する。
- ☆ 地域連携医療を実践するための知識、技術、態度を修得する。
- ☆ 歯科医師臨床研修及びその後の進路のあり方について修得する。

【授業実施形態】

面接授業

※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

指定期間内に課題を行い、その総合成績をもって評価する。

【教科書】

5年次までに使用した教科書、資料すべて

【学修の準備】

- ☆ 提示した課題について学外実習後毎回レポートを作成する。（30分）
- ☆ 診療予定内容について、十分に復習する。（60分）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1. 安全で質の高い歯科医療を提供するために必要な専門知識に基づく問題解決能力と患者ケアのための診療技能とからなる専門的実践能力、および医療・医学研究の発展のために必要な情報・科学技術の活用能力を身につけている。（専門知識に基づいた問題解決能力、患者ケアのための診療技能、情報・科学技術を生かす能力）

DP 2. 「総合的に患者・生活者を支える歯科医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につけている。（総合的に患者・生活者をみる姿勢、プロフェッショナリズム、コミュニケーション能力）

DP3. より安全で質の高い歯科医療を実践し社会に適応する医学を創造していくために生涯にわたって自己および他の医療者との研鑽を継続しながら医療者教育と学術・研究活動にも関与できる能力を身につけている。（科学的探究、生涯に渡ってともに学ぶ姿勢）

DP 4. 多職種（保健、医療、福祉、介護）と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践できる能力を身につけている。（多職種連携能力）

DP 5. 歯科医療の専門家として、経済的な観点・地域特性を捉えた視点・国際的な視野を持ちながら活躍できる能力を身につけている。（社会における医療の役割の理解）

【実務経験】

指導歯科医講習会を修了し、臨床研修指導歯科医の要件を満たす歯科医師が担当している。

【実務経験を活かした教育内容】

大学病院、歯科クリニックでの実務経験を活かし、地域連携医療を担う歯科医師、スタッフなどとともに、包括的な歯科医療の実践について教授する。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している